

1. 村上地域

水と匠

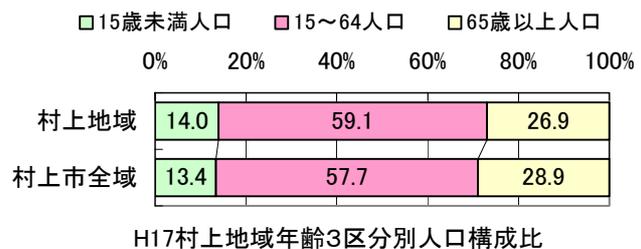
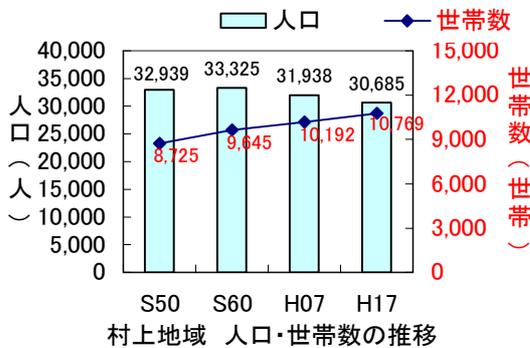


【村上地域の位置】



【地域の現状】

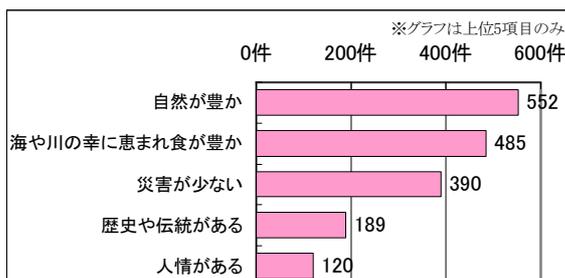
- ・村上市中部、旧村上市の区域
- ・山林地が約 85%、農地が約 10%、宅地が約 4%
- ・人口は昭和 60 年以降減少、世帯数は増加傾向
- ・65 歳以上高齢者比率は 26.9% で市平均より低い



【アンケート結果】

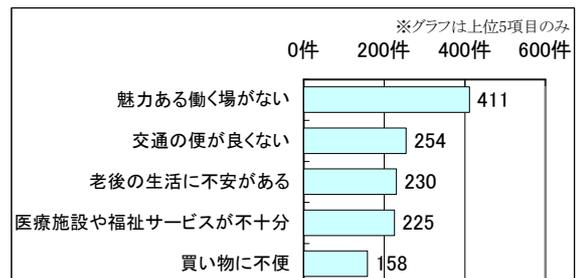
・村上市が住みやすいと感じる理由

1. 村上地域



・村上市が住みにくいとを感じる理由

1. 村上地域



村上地域の課題

【村上市の中心としての魅力の向上】

中心市街地における都市機能強化と活力の向上
町屋の人形さま巡りなど地域イベントの発展支援とさらなる知名度の向上
郊外への無秩序な開発の抑制と市街地内未利用地の有効利用

【高速道路開通を活かした交流人口の拡大】

城下町・温泉・岩船港など県北を代表する資源の魅力向上と相互連携
日東道開通を活かした受け入れ環境整備と魅力の向上
農山漁村地域における交流拡大と地域の持続

【若者定着と高齢者にもやさしい生活環境整備】

若者定着のための教育環境や魅力ある就業の場の確保
海・山・川の自然環境の保全活用
高齢者も含めて安心して暮らせるための生活基盤や公共交通などの整備

村上地域の将来目標

「水」と「匠」の文化

村上地域はこれまで、鮭・清酒・茶などの「水」の文化によって育まれ、また堆朱・村上大工の技術など「匠」の文化により発展してきました。これからも「水と匠」を活かした地域づくりを進めていきます。

1 村上市の中核的都市機能を担うまち

村上市の中心として、行政・医療・商業・文化・娯楽などの都市機能が充実し、全市域から多くの人が集まり、快適に都市サービスを受けられる魅力ある中心拠点の形成を目指します。また、豊かな自然との調和を図りつつ、秩序ある効率的な土地利用を誘導し、活力とうるおいの共存する地域を目指します。

2 城下町・瀬波温泉など地域の宝を活かした交流のまち

城下町と鮭の文化や風情が残る村上市街地をはじめ、瀬波温泉・岩船港・笹川流れ・大祭など地域固有の財産をさらに磨き上げるとともに、町屋の人形さま巡り、門前の薬膳ツーリズムなど市民主体の取り組みを発展させます。そして互いにつなげることで、外部からもさらに多くの人を訪れる、魅力の高い活力ある交流のまちを目指します。

3 誇れるふるさと村上で安心して暮らし続けられるまち

地域の若者や都会へ出た村上出身の人たちが住み続けたく、また戻って来たくするような魅力ある生活環境づくり（職・住・遊など）を目指すとともに、子どもや高齢者も安心して快適に暮らせるための生活環境（防災・防犯・医療・福祉・交通など）の整備を目指します。

村上地域の整備方針

1 「村上市の中核的都市機能を担うまち」の方針

【市街地内の整備】

臥牛山東側の国道7号沿道地区は将来市街地と位置づけ、日東道村上瀬波温泉IC開設も前提に広域的商業や沿道業務機能、また新たな雇用の場を創出する企業誘致などのための利便増進と、お城山の景観との調和にも配慮しながら活力ある交流拠点としての形成を目指します。

商業系や住居系の土地利用が進展してきている田端町・山居町周辺（現工業系用途地域）は、今後、日東道ICアクセス道路周辺という立地条件を視野に入れながら、これにふさわしい施設の誘導を図るため、適正な用途地域への変更を図ります。

商業機能と住宅地の一体的な整備が進んでいるJR村上駅西側（現在工業系用途地域）については、駅に近い便利な住宅地として位置づけ、駅西口開設とともに、都市の魅力づくりに資するような施設の立地も視野に入れながら、適正な用途地域への変更を図ります。

岩船長者屋敷周辺は、主に岩船密集市街地における住宅建替え需要の受け皿として、また緑豊かで快適な住宅地として、将来市街地の位置づけのもと、新たな住宅地の形成を図ります。



【市街地を取り囲む自然環境の保全】

国指定文化財であるお城山は、市街地に隣接する貴重な緑地資源であり、文化遺産でもあることから、保全と有効な活用により後世へ継承していくとともに、市民の身近な健康づくりの場や市街地を一望できる地域のシンボルとしての整備を目指します。

市街地近傍の山林地については、土砂災害の防止やCO₂吸収などの多面的公益機能の確保とともに、緑豊かな市街地の背景を形作る景観要素としての保全を図ります。

三面川、石川などの河川敷は、美しい水辺空間と背後の景観を活かして、安らぎのある緑地空間の整備を目指します。

市街地を取り囲む広大な農地については、安全で良質な米や野菜の供給基地として、またうるおいある景観形成地として、生物多様性の確保にも配慮しながら、保全とその機能維持を図ります。



【中心市街地の活性化】

まちなかの空き店舗や空き家情報を積極的に提供し、コミュニティビジネスなど新規起業や都心居住の受け皿として、有効活用を目指します。

まちなかの空き地空き家などを活用して地域住民や来訪者が休憩できるような空間の整備を目指します。

郊外の大型店にはない中心市街地独自の集客のための取り組みを検討し、人同士の温かな対話があって、歩いて楽しめるような環境づくりを目指します。



【市街地周辺の交通の整備】

国道7号は、沿道商業地を利用する買い物客の利便性・快適性を高め、さらに通勤などの通過交通を円滑にするための整備改善を目指します。

村上市街地への通過交通の進入を防止するとともに、来訪者の笹川流れ方面へのアクセスを改善するため、都市計画道路環状3号線の瀬波温泉トンネル～瀬波小学校間の整備を目指します。

日東道村上瀬波温泉ICから村上市街地、岩船港へアクセスする道路の整備を促進し、円滑な交通の流れの実現を目指します。

2 「城下町・瀬波温泉など地域の宝を活かした交流のまち」の方針

【城下町村上の整備】

城下町の名残として、全国的にも珍しい城跡・武家屋敷・町屋・寺町の4点セットが残っていることから、技術・生業・暮らしなどの文化と一体的に魅力がある城下町づくりを目指します。

旧武家町の景観形成地区は、住宅の外観の保全や生け垣の設置などにより、緑豊かな住宅地として整備充実を図ります。

旧町人町については、深い歴史を持つ町屋や神社仏閣など伝統的な景観の条例制定も視野に入れた保全とともに、地域の声を聞きながら、観光資源としてにぎわいのある空間の整備創出を図ります。

城下町村上のシンボルである臥牛山は市街地を一望できる眺望はもちろん、四季を通して美しい景観を楽しませてくれる市街地近傍の景観構成要素として、旧武家町、町人町との一体的な保全と活用を図ります。

「町屋の人形さま巡り」や「屏風まつり」など、地域の活性化につながる市民の



取り組みへの積極的な支援を目指します。また「村上大祭」、「瀬波大祭」、「岩船大祭」などの伝統行事の観光資源を有効に活用できるよう、環境の整備を目指します。

自動車で訪れる来訪者のまちなかへの流入を抑制するため、市街地外縁部に駐車場を整備し、徒歩や自転車で町屋や武家屋敷を周遊できるような環境づくりを目指します。

【岩船港周辺の整備】

観光拠点である岩船港と岩船商店街については、来訪者や買い物客が歩いて楽しめるような一体の環境整備を目指します。

岩船神社や明神橋からの眺望など、歴史ある景観と岩船市街地の活性化とを併せた、魅力ある市街地景観の形成を目指します。



【瀬波温泉周辺の整備】

瀬波温泉は夏場の海水浴や広域観光の宿泊地として、道路や駐車場の整備充実を図るとともに、日本海が見える温泉街にふさわしい魅力の高い景観形成を目指します。

海岸部の松林は、その美しい景観の保護を目指し、温泉街や海岸との連携とともに遊歩道や休憩施設などの整備を目指します。

【その他観光交流拠点の方針】

夏場の観光ルートとして重要な役割を果たしている国道345号は、美しい海岸線の景観に配慮し、駐車場や交通渋滞についての情報提供や環境整備を目指します。鮭公園周辺については、鮭養殖発祥地であり、食文化や奨学制度など地域の人々の暮らしを支えてきた歴史を持つ鮭文化をPRするため、一層の環境整備を目指します。

門前地区の耕雲寺での薬膳料理やホテル鑑賞など、地域の手で育ててきた資源を活用し、交流の促進を図ります。

かつて北前船の寄港地であった岩船・瀬波などの集落は、当時を偲ばせる建造物を活かしたまちなみの保全とさらなる魅力的な景観の創出を図ります。

地域住民による案内ボランティアなどを支援し、地域住民と来訪者との観光を通じた交流の拡大を目指します。



3 「誇れるふるさと村上で安心して暮らし続けられるまち」の方針

【身近な生活基盤の整備】

市街地や集落内で日常生活に大きな支障を与えている生活道路については、地域の声を聞きながら改善を目指します。

中心市街地内の道路整備については、歴史的資源の保全活用と調和がとれ、かつ歩行者の安全性など、生活環境にも配慮した整備を目指します。

JR村上駅周辺の未利用地においては、土地所有者の意見も聞きながら、ネーミングライツなどを利用した、市民も来訪者も集える潤いのある公園整備などを目指します。



冬季における安全な道路環境を確保するため、車道と歩道の除雪体制の確保を図ります。

まちなかや集落では、子どもや高齢者が気軽に集える身近な公園などの維持充実を目指すとともに、神社境内なども近隣住民の憩いの場として利活用を目指します。

下水道未整備地区については、適切な手法により整備を図り、快適な生活環境の創出を目指します。また下水道整備済地区については、未接続世帯の解消を目指します。

近年開発がみられる山辺里地区の村上東中学校周辺については、既存の農業環境を保全しながら秩序ある土地利用を誘導するため、道路形態や建物用途、住宅の敷地規模などについての規制の検討を図ります。



【不自由なく移動できる環境の整備】

鉄道駅周辺の利便性を高めるため、駐車場・駐輪場などの整備、周辺の緑化、バリアフリー化、他公共交通との連携などの環境整備を目指します。

集落部において自動車などの移動手段を持たない人たちが、容易に市街地の都市サービスを楽しむことができるよう、新たな公共交通の仕組みを検討し、地域の移動手段の確保を図ります。

【安全に暮らすための施設整備】

木造建物が密集する市街地においては、安全で快適な生活環境の形成に向けて、地区内オープンスペースの確保、建物の不燃化・共同化、緑化など適切な改善を目指します。また、避難所まで安全に連絡する避難路の確保など、防災性の向上も目指します。

国道 345 号は上海府地区の住民にとって重要な生命線であるとともに災害発生時

の緊急輸送など防災面でも重要な役割を果たすことから、特に冬場の安全な通行が確保されるよう整備改善を目指します。

また災害時の迂回路として、国道7号と345号を東西に結ぶ林道の充実と広域幹線林道などの整備を目指します。

海岸部の集落では、津波の際に集落住民が安全かつ円滑に避難できるよう、避難場所・避難路の周知とこれらの整備を目指します。

【地域コミュニティの維持】

既存集落は閑静で良好な居住環境を保全することを基本としながら、一定区画数以下の優良な住宅地の整備なども視野に置き、著しい人口減少による地域活力の衰退防止を目指します。

地域内の空き家や空き施設などは、地域内の多世代交流や外部住民との交流の場としての活用を目指します。

【身近な自然環境の保全】

道路や公共施設などにおいては、街路樹の整備や花のある景観づくりと、きれいでうるおいのあるまちなか空間の創出を目指します。

地域内に広がる森林については、土砂災害の防止や水害の防止、水源涵養、CO₂吸収、美しい景観の形成などの重要な公益機能を確保するため、開発は抑制し、維持保全を図ります。

海岸部については、浸食対策の実施など、美しい白砂青松の景観の保全を目指します。

行政と市民の協働のもと、美しい海岸・河川・港などの保全に向けた取り組みを目指します。

落葉処理や花壇の手入れ、小水路の清掃など、身近な公共施設の維持管理についても、市民や企業などが自発的に行えるような手法の構築を目指します。



村上地域 整備方針図



【国道 345 号】
○ 景観への配慮、駐車場や渋滞についての情報提供
○ 冬場の安全な通行確保
○ 国道 7 号と 345 号を結ぶ林道や広域幹線林道の整備

【城下町村上の整備】
○ 旧武家町：緑豊かな住宅地としての整備充実
○ 旧町人町：町屋や寺社仏閣等伝統的な景観保全・観光資源としての活用
○ 市民の取り組みの積極的支援、伝統行事の有効活用
○ 市街地外縁部の駐車場整備、徒歩や自転車であちなかを周遊できる環境づくり

【中心市街地の活性化】
○ 空き店舗や空き家の情報提供・有効活用
○ 空き地・空家等を利用した休憩施設などの整備
○ 郊外大型店にはない中心市街地独自の取り組み

【市街地内整備】
○ 山居町：商業系・住居系にふさわしい施設の誘導・適正な用途地域への変更
○ 村上駅西：駅に近い便利な住宅地として適正な用途地域への変更
○ 駅周辺未利用地の有効活用

【安全に暮らすための施設整備】
○ 木造密集市街地の安全快適な住環境への改善

【観光交流】
○ 観光ボランティア支援による交流の拡大

【山辺里地区】
○ 既存の農業環境を保全しながら秩序ある土地利用を誘導、道路形態・建物用途・敷地規模等についての規制の適用

【観光交流拠点の方針】
○ 耕雲寺での薬膳料理やホテル鑑賞など地域資源の活用による交流拡大

【自然環境の保全】
○ 道路や公共施設での緑の整備、うるおいあるまちなかの空間づくり
○ 森林の公益機能確保、開発抑制
○ 市民や企業が自発的に環境を維持管理できるようなシステム検討

【自然環境の保全】
○ 白砂青松の景観保全
○ 行政と市民の協働のもと美しい自然環境保全の取り組み

【観光交流拠点の方針】
○ 鮭公園周辺での鮭の歴史文化のPR、一層の環境整備

【瀬波温泉の整備】
○ 日本海が見える温泉街にふさわしい魅力の高い景観形成
○ 松林の景観保護、遊歩道・休憩施設等の整備

【国道 7 号周辺】
○ 広域商業・沿道業務機能・企業誘致のための利便増進、お城山の景観との調和
○ 通過交通の円滑な流れのための整備改善

【観光交流拠点の方針】
○ 北前船寄港地であった岩船、瀬波の歴史的景観創出

【市街地周辺の交通の整備】
○ 都市計画道路環状 3 号線瀬波温泉トンネル～瀬波小整備促進
○ 村上瀬波温泉 IC～村上市街地・岩船港のアクセス道の整備促進

【地域コミュニティの維持】
○ 空き家、空き施設の交流の場としての活用
○ 集落活力の衰退を防ぐため一定区画以下の優良住宅の整備

【岩船市街地整備】
○ 岩船港・商店街：歩いて楽しめるような一体の整備
○ 岩船長者屋敷：新たな住宅地の形成
○ 歴史ある景観と市街地活性化を併せた魅力ある市街地景観形成

【市街地を取り囲む自然】
○ お城山の保全・市街地を一望できる地域のシンボルとして、城下町と一体の整備
○ 市街地近隣の山林地の公益機能の確保・景観要素としての保全
○ 河川敷の安らぎある緑地空間の整備
○ 農地の保全と機能維持

【身近な生活基盤整備】
○ 歴史的資源の保全活用と生活者の利便に配慮した道路の整備
○ 日常生活に支障ある生活道路の改善
○ 冬季除雪体制の確保
○ 身近な公園の維持充実
○ 下水道未整備地区の適切な整備

【不自由なく移動できる環境整備】
○ 鉄道駅周辺の利便性向上
○ 新たな公共交通の仕組み検討

凡 例

- 用途地域
- 既存集落
- 水面
- 山林地
- 農用地
- 基幹集落
- 交通拠点
- 観光・交流拠点
- 産業拠点
- 行政区画
- 都市計画区域
- 高速道路
- 国道
- その他道路
- 鉄道

